資料2

地方創生推進交付金事業の取組みについて

平成30年6月25日
千葉市

“ちば”共創都市圏内における連携によるグリーンツーリズムの推進

観光プロモーション課

＜事業概要＞自然豊かな内陸部の活性化を図るため、農林水産省の定義する「農山漁村地域における自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動」に加え、「緑」「里」「農」をキーワードとして自然豊かなエリアに存在する自然的・歴史的・文化的観光資源を地域の魅力として活用しながら、市原市と連携し、滞在型余暇活動の促進を図る。

＜事業内容及び実施状況＞

◆データ収集・分析委託（マーケティング調査）

グリーンツーリズムをより効果的に推進するための戦略、コンセプト設定、プロモーション手法の決定、KPI設定に必要なデータを収集するための調査を実施した。
（以下、業務委託内容）

(1)	観光実態調査（宿泊数・旅行消費額・来訪者満足度・WEBサイトアクセス状況等を調査）
(2)	消費者調査（首都圏居住者を対象に千葉市・市原市やグリーンツーリズムに対する印象や観光イメージ等についての基礎データと訴求可能なコンセプトに関するデータを収集）
(3)	上記調査で収集したデータの集計・分析及び報告書の作成
(4)	収集したデータ及び分析結果に基づいた助言・指導

◆地域連携プロモーション（観光ガイドブック発行）

東京都在住のファミリー層向けに、市内陸部（若葉区・緑区）の魅力の発信と宿泊を含めた滞在型観光へつなげていくことを目的として観光ガイドブックを発行。

【媒体概要】
- 仕様： B5判フルカラー 8ページ
- 発行部数： 25,000部（H30.3月発行）
- 配布場所： 参加型旅行案内所「TRAVEL HUB MIX」（東京・大手町）、都内スーパー・ファミリーレストラン 34ヵ所（東京都江戸川区、江東区、墨田区等）、京葉道路 幕張PA「パサール幕張」、船橋市・習志野市の一部など
- WEB特設ページ： http://www.chibacity-ta.or.jp/wakaba_midori

【掲載情報など】
春から初夏までの期間（4月1日～7月8日）だからこそ楽しめる市内陸部の「食べる」「見る」「遊ぶ」「農体験・里山体験」など、魅力的な観光情報を掲載。
- 観光モデルプラン 4件
- 飲食店等のクーポン 5件
- 宿泊施設 5件（市内初の特区民泊施設を含む）

＜重要業績評価指標（KPI）＞

指 標 名	実績値 平成29年度末	目標値 平成29年度末	目標値 平成31年度末
千葉都市モノレール乗車人員数〔動物公園・桜木・千城台駅〕	245万人	245万人	250万人
千葉市及び市原市の観光入込客数	28,906千人	29,281千人	30,294千人
千葉市及び市原市の現地発着の体験型観光プラン参加金額	2,165千円／年	7,080千円／年	12,440千円／年

＜事業費（決算額）＞ 6，768千円

＜評価とその理由＞

「地方創生に効果があった」

・マーケティング調査により、グリーンツーリズム事業を戦略的に進めるために必要な基礎情報を入手できたため。
・観光ガイドブックを（25,000部）を東京都内を中心に配架したことにより、市外・県外のファミリー層へ市内陸部の魅力について観光PRできたため。

＜今後の方針とその理由＞

「追加等さらに発展させる」

地域連携DMOの創設につなげるため、平成30年度以降は、マネジメント人材（2人）の登用及び千葉・市原両市における観光等実態調査を実施し、グリーンエリアの観光と体験プランに関する情報発信を行う等、戦略的な取組みに発展させる。